SEIKO

水晶親時計
ＱＣ－５５００シリーズ

取扱説明書

このたびは、セイコー製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになった後はいつでもご覧いただけますよう、大切に保管してください。

セイコータイムシステム株式会社
SEIKO TIME SYSTEMS INC.

－ご注意－

(1) 本書の一部または全部を無断転載することは、禁止されております。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

(4) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定のサービス部門以外の第三者により修理･変更されたことに起因して生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

－本書で使用の記号について－

本書に使用される記号の意味は次の通りです。

危険	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。

警告	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

次の絵表示は、禁止事項を示します。

一般的な禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

次の絵表示は、必ず実行していただく事項を示します。

一般的な指示

アース線の接続

目　次

１．安全のために必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい注意事項を示しています。

●お客様用

項目	内容	
取り付け・電気工事の禁止	お客様は取り付け･電気工事および文中の「工事業者様へ」と書かれた枠内の作業を絶対に行わないでください。必ず、工事業者様へご依頼ください。感電・火災・落下の危険があります。	

警告

項目	内容
設置場所の選択	この製品は、屋外に設置しないでください。屋内用のため、水が侵入すると、感電や火災の原因になります。
	浴室や水場など湿気の多い所に設置しないでください。感電や火災の原因になります。
異常時の処置	煙が出たり、異臭がするなど異常が発生したときは、すぐに電源スイッチと、もとの電源を切ってください。 修理は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。 そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。
分解・修理・改造の禁止	修理は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。 修理技術者以外の人が分解したり修理･改造を行うと感電や火災の原因になります。
操作時の注意点	各モニタの時刻合わせをするとき、指定の操作部以外、触れないでください。 感電することがあります。
液体禁止	水や薬品などの液体をつけたり、かけたりしないでください。万一、これらが内部に入ったときは、電源スイッチと、もとの電源を切ってください。 点検は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。 そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。
ぬれた手禁止	ぬれた手で製品の操作や電源の入り切りをしないでください。感電することがあります。
電源コード類の取り扱い	電源プラグを抜き差しするときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って、抜き差ししてください。（電源プラグ付きの場合）破損し、感電や火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、重い物をのせたり、無理に曲げたりしないでください。感電や火災の原因になります。
	痛んだ電源コードやプラグ、差し込みのゆるいコンセントは使用しないでください。感電や火災の原因になります。

⚠ 警告

電源	ＡＣ１００Ｖ ５０/６０Ｈｚ 以外は使用しないでください。 それ以外の電源を使用すると感電や火災の原因になります。	
アース線の確認	製品のアース端子に、アース線が取り付けてあることを確認してください。 アース線が付いていないと、故障や漏電のとき感電することがあります。 アース線は、Ｄ種接地以上の工事を必要としますので、工事業者へご依頼ください。	
ヒューズ交換の禁止	ヒューズの交換作業は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。お客様が交換作業を行うと感電することがあります。	
ニカド電池の交換と回収	お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。 感電することがあります。	
外装のお手入れ前の注意点	お手入れのときは、もとの電源を切ってください。感電することがあります。	
内部のお手入れ禁止	内部のお手入れは、行わないでください。お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。お客様が作業をすると、感電することがあります。	

●工事業者様用

工事業者様へ

⚠ 警告

取り付け工事の注意事項

取り付け場所の選択	この製品は、屋外に設置しないでください。屋内用のため、水が浸入すると、感電や火災の原因になります。
	浴室や水場など湿気の多い所に設置しないでください。感電や火災の原因になります。
取り付け場所の強度	取り付ける建造物の構造が、この製品の重さに十分耐えられることを確かめてください。強度の弱い所に取り付けた場合、風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。
コンクリート壁面の取り付け方法	壁面がコンクリートの場合は、ＡＹプラグボルトをご使用ください。木ネジによる取り付けは、絶対に行わないでください。風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。
取り付けネジの締め付け	製品の取り付けネジは十分に締め付けてください。締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。
ステーの固定	前枠を開けた状態に保持するステーはしっかりと固定してください。引っ掛けるなどして前枠が閉じてしまうと、製品の故障および人身事故にいたることがあります。
電気工事	入出力端子台に結線するときは、ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚが供給されていないことと、バッテリが接続されていないことを確認してください。感電することがあります。
接地工事	製品のアース端子にアース線を取り付けてください。アース線が取り付いていないと、故障や漏電のとき感電することがあります。なお、接地はＤ種接地以上の工事を施工してください。
端子台保護カバーの取り付け	入出力端子台の結線作業後、端子台の保護カバーをもとの位置に取り付けてください。取り付いていないと、感電することがあります。
電源	ＡＣ１００Ｖ ５０/６０Ｈｚ 以外は使用しないでください。 それ以外の電源を使用すると感電や火災の原因になります。
バッテリの接続	バッテリの接続は、取り付けおよび電気工事完了後、製品に電源が供給されていないことを確認し実施してください。感電することがあります。
バッテリの交換	本製品には、必ず指定のバッテリをご使用ください。
ヒューズの交換	ヒューズが溶断し交換するときは、原因を取り除き、電源スイッチを切ってから、指定のヒューズと交換してください。感電や火災の原因になります。

２．概要

ＱＣ－５５００シリーズは、高精度の水晶親時計です。
ＦＭ電波修正機能、長波電波修正機能およびタイムリンクによる外部同期など豊富なオプション品を目的に合わせて付加することができます。

３．製品の特長

（１）親時計機能（QC-5510,QC-5520,QC-5530）
各系統ごとに最大３０台（消費電流１２ｍＡの場合）の子時計を接続することができます。

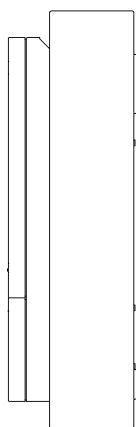
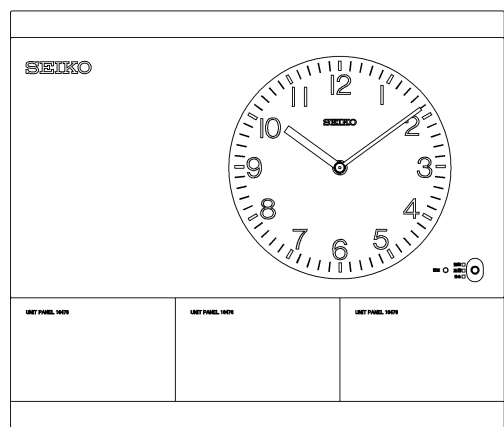
（２）外部同期機能
タイムリンクプロ中継器ＳＷ－３０２を接続することにより、時計の誤差を自動的に修正します。

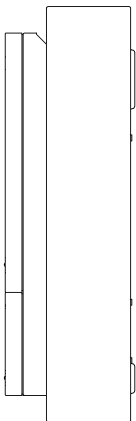
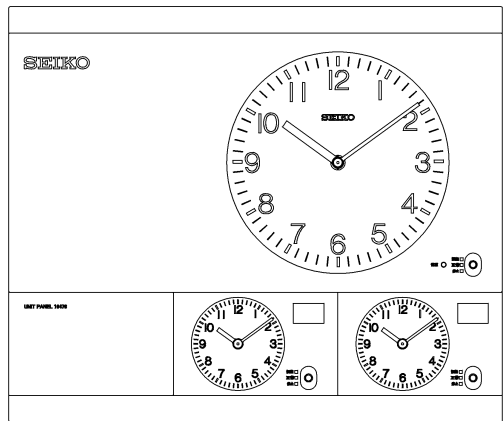
（３）ＦＭ電波修正機能（Ｒタイプ：オプション　ＦＭ電波修正ユニット（Ｒ）付き）
ＮＨＫ－ＦＭ放送を受信して、１日２回（７時、１９時）時計の誤差を自動的に修正します。

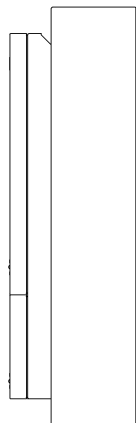
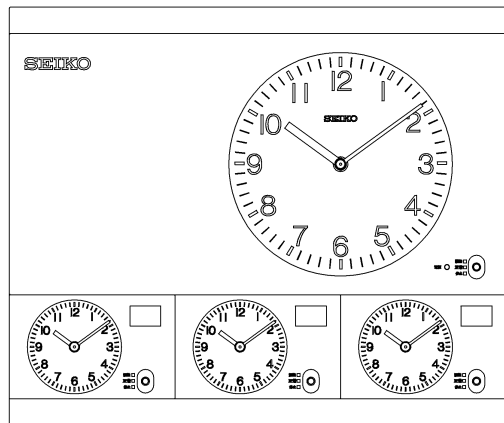
（４）標準電波修正機能（Ｌタイプ：オプション　長波受信器 LFR-200R-10C を接続）
標準電波を受信して、毎正時に時計の誤差を自動的に修正します。

４．付属品・予備品

付属品・予備品	数　量	備　考
プラスチック足	４個	
ミニヒューズ	３個	125V、2A
絶縁被覆付圧着端子	備考欄	QC-5510、5510R、5510L　M4×10 個 QC-5520、5520R、5520L　M4×12 個 QC-5530、5530R、5530L　M4×14 個
取扱説明書	１部	
取付原寸図	１枚	

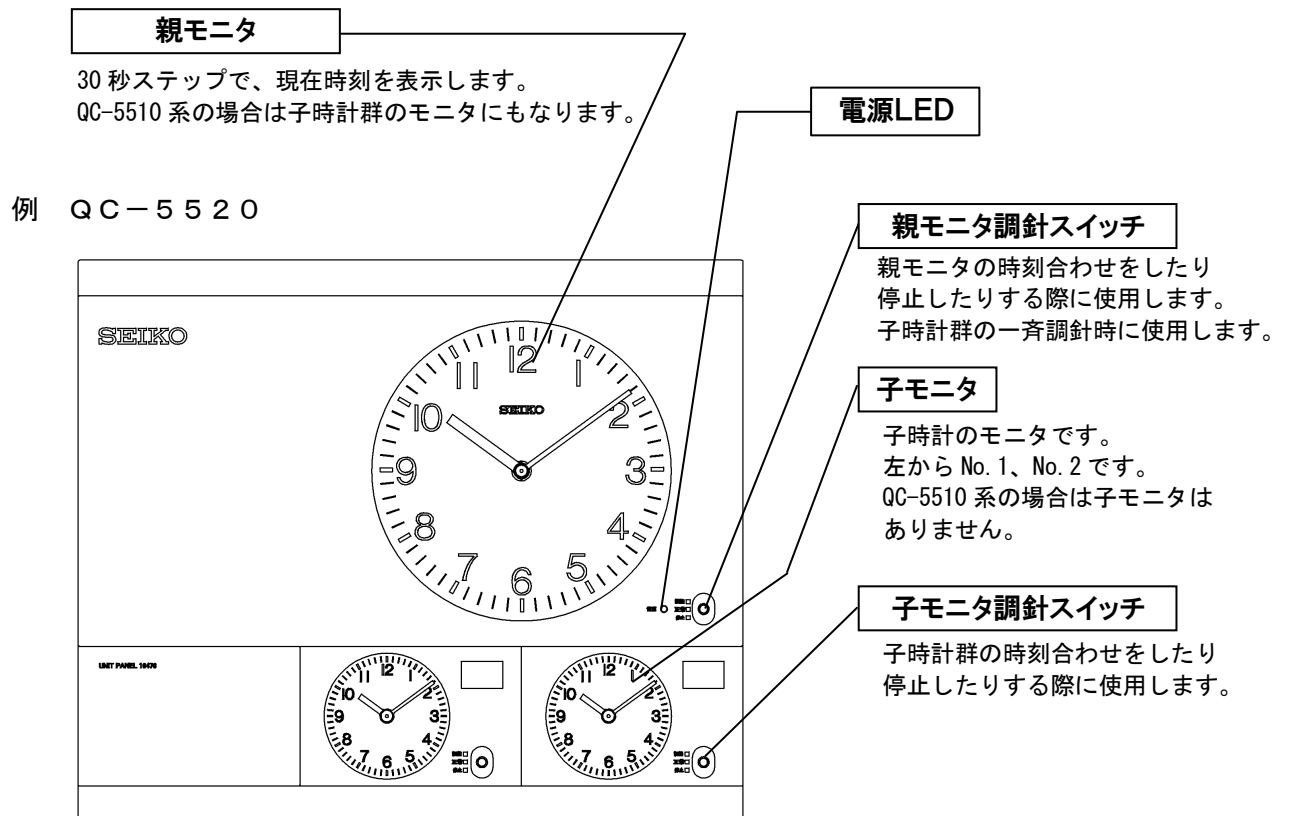
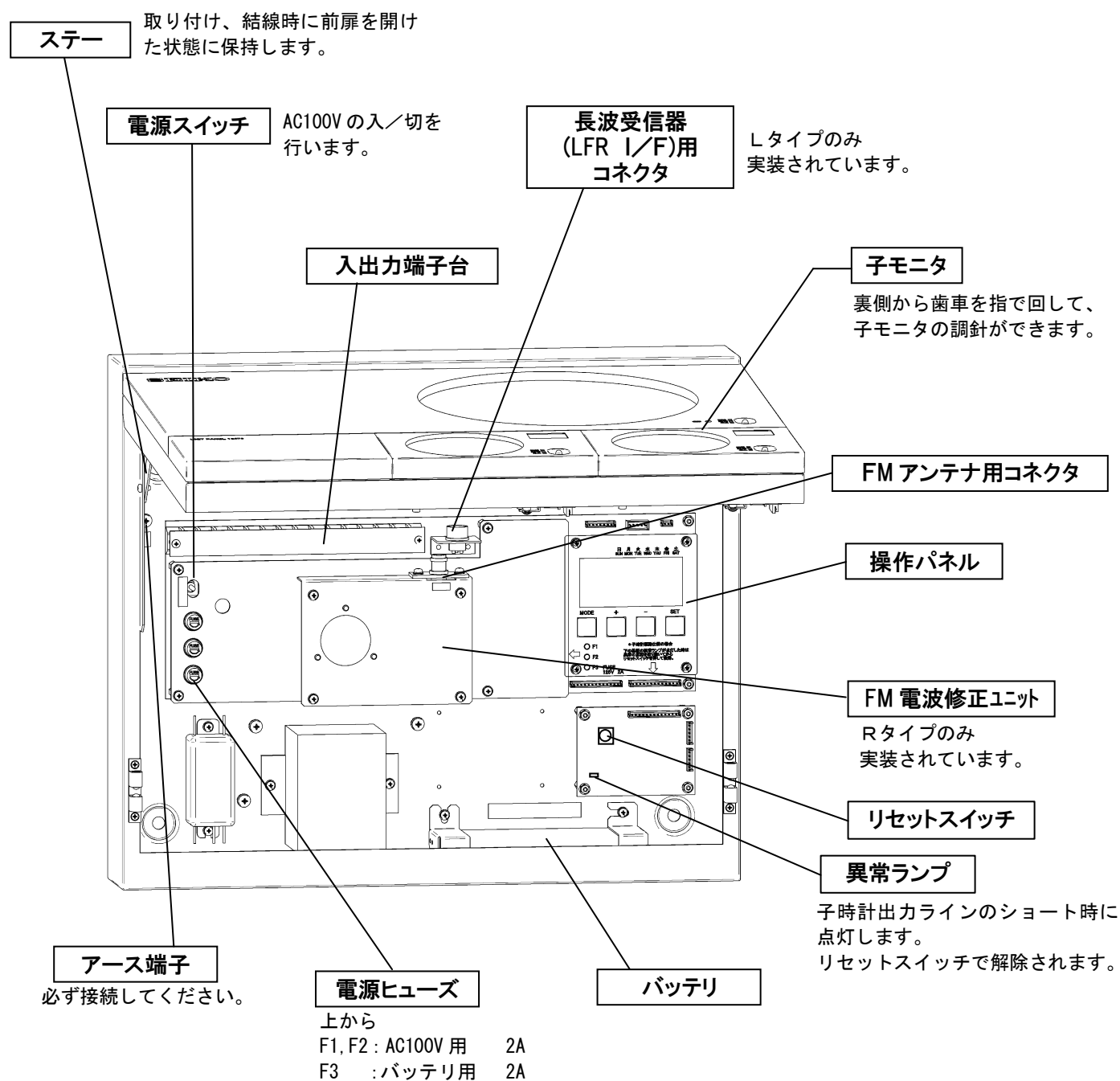
５．製品一覧

子時計１回路

QC-5510	子時計 30 台駆動
QC-5510R	FM 電波修正機能付
QC-5510L	長波電波修正機能付

子時計２回路

QC-5520	子時計 60 台駆動
QC-5520R	FM 電波修正機能付
QC-5520L	長波電波修正機能付

子時計３回路

QC-5530	子時計 90 台駆動
QC-5530R	FM 電波修正機能付
QC-5530L	長波電波修正機能付

※オプションの取付金具Ｅ３５４／Ｅ４４２を取り付けることでラックに収納できます。

６．各部の名称と機能（前面パネル）

7．各部の名称と機能（内部）

８．日付・時刻の確認

８．１　電源投入

前面パネルを開けて、電源スイッチを 「入」 にしてください。
電源スイッチを 「切」 にした時は、10 秒以上待ってから 「入」 にしてください。

ご注意
電源スイッチの「切」と「入」を短時間で切り替えると、誤動作や針位置ずれが発生する可能性があります。

８．２　日付・時刻の確認

操作パネルにあるＬＣＤ表示の日付・時刻を確認してください。
現在の日付・時刻と違う場合、「10. 1　日付・時刻の設定」 の手順で、正しい日付・時刻を設定してください。

日 月 火 水 木 金 土
SUN MON TUE WED THU FRI SAT

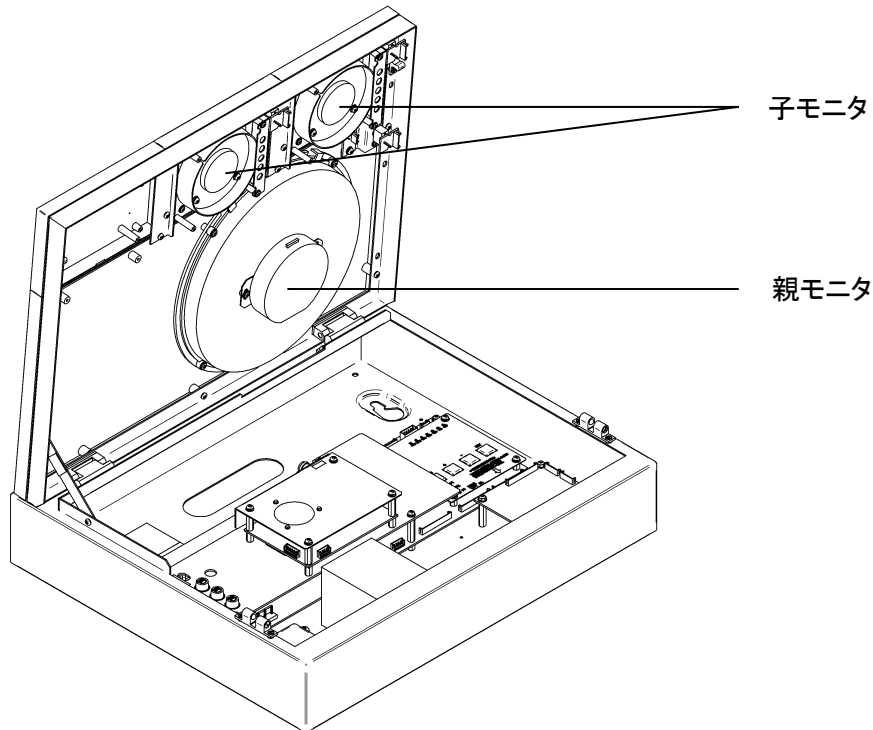
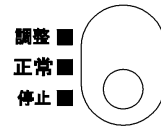
13:24:56
07- 4- 1

ご注意
外部同期や FM 電波修正による時刻修正は、修正できる誤差範囲が決まっています。
時刻が誤差範囲(外部同期および FM 電波修正は±15 秒)を超えて違っていると、FM 電波修正では時刻が修正されません。
本機の使用を始める際は、できるだけ正しい時刻を設定してください。

８．３　モニタ時計の時刻合わせ

（１）各モニタの調針スイッチをすべて 「停止」 にします。

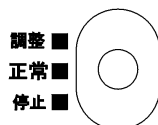
（２）モニタ時計と子時計のすべてを同一時刻に合わせます。

親モニタは、機械体のカバーを開けて大歯車を指で回します。
子モニタは、裏側から見える大歯車を回して合わせます。

警告	各モニタの時刻合わせをするとき、指定の操作部以外、触れないでください。感電することがあります。

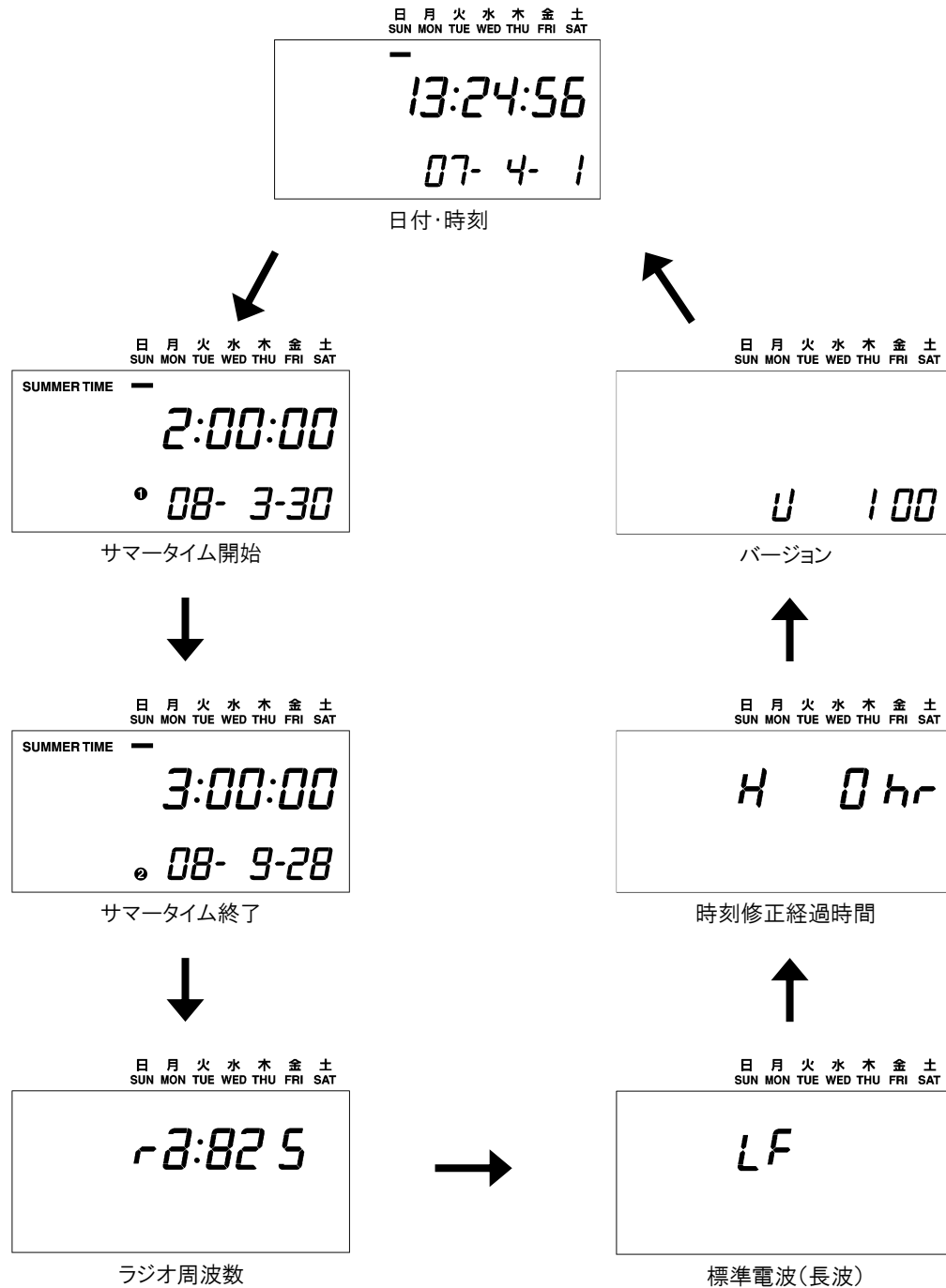
（３）デジタル表示に合わせます。

子モニタの調針スイッチを 「正常」 にします。

（子モニタの調針スイッチが「正常」のときは、子モニタは親モニタに連動します。
親モニタの調針スイッチが「停止」の間は、子モニタも停止しています）

親モニタの調針スイッチを 「調整」 にすると、各モニタが早送りされます。
デジタル表示の時刻と一致したら、「正常」 に戻してください。

９．常時モード

設定等の操作をしていない状態を 「常時モード」 と呼称します。
常時モードでは、子時計の運針、時刻修正、各種信号出力等が行われます。

操作パネルにある MODE を押すと、下図の順でＬＣＤの表示内容が替わります。

１０．設定モード

１０．１　日付・時刻の設定

日付・時刻が間違っているときは、手動設定で修正してください。
常時モードで“日付・時刻”を表示している状態で SET を押すと、設定モードになります。

日　月　火　水　木　金　土
SUN MON TUE WED THU FRI SAT

13:24:56

07- 4- 1

点滅しているのが設定中の項目で、年 → 月 → 日 → 時 → 分 の順で数値を修正して、
0秒のタイミングで決定します。
なお、曜日 は設定された 年月日 から自動的に計算されます。

設定項目とスイッチの機能割り当ては、下記の通りです。

（１）年 の設定

MODE　設定中に押すと常時モードに戻ります。
設定中に変更していたすべての項目の数値は無効になります。

＋　１回押すと 年 が ＋１ され、押し続けると、連続して増加します。
最大９９（２０９９年）までで、次は００（２０００年）になります。

－　１回押すと 年 が －１ され、押し続けると、連続して減少します。
最小００（２０００年）までで、次は９９（２０９９年）になります。

SET　点滅（設定項目）が 月 に進みます。

（２）月 の設定

MODE　設定中に押すと点滅（設定項目）が 年 に戻ります。

＋　１回押すと 月 が ＋１ されます。
押し続けると、連続して増加します。

－　１回押すと 月 が －１ されます。
押し続けると、連続して減少します。

SET　点滅（設定項目）が 日 に進みます。

（３）日 の設定

MODE　設定中に押すと点滅（設定項目）が 月 に戻ります。

＋　１回押すと 日 が ＋１ されます。
押し続けると、連続して増加します。

－　１回押すと 日 が －１ されます。
押し続けると、連続して減少します。

SET　点滅（設定項目）が 時 に進みます。

（４）時 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 日 に戻ります。
＋	１回押すと 時 が ＋１ されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 時 が －１ されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 分 に進みます。

（５）分 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 時 に戻ります。
＋	１回押すと 分 が ＋１ されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 分 が －１ されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 秒 に進みます。

（６）秒 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 分 に戻ります。
＋	１回押すと 秒 が ＋１ されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 秒 が －１ されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	表示されている日付・時刻を内部時計に設定して、常時モードに戻ります。 タイミングを合わせて押してください。

ご注意

外部同期や FM 電波修正による時刻修正は、修正できる誤差範囲が決まっています。
時刻が誤差範囲(外部同期および FM 電波修正は±15 秒)を超えて違っていると、
FM 電波修正では時刻が修正されません。
本機の使用を始める際は、できるだけ正しい時刻を設定してください。

１０．２　サマータイムの設定

あらかじめ期間を設定することで、自動的にサマータイム中は１時間進めることができます。
常時モードで “サマータイム開始” または “サマータイム終了” を表示している状態で SET を押すと、設定モードになります。
なお、標準電波（長波）修正では、電波受信により自動的に対応します。（この設定は無効になります）

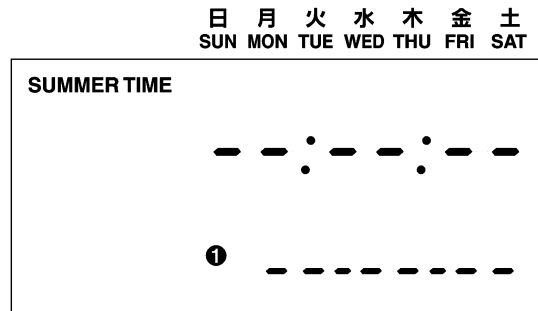
日 月 火 水 木 金 土
SUN MON TUE WED THU FRI SAT

サマータイム(開始)が設定されていない状態です。
サマータイム終了の画面も同様です。

図10. 2. 1

日 月 火 水 木 金 土
SUN MON TUE WED THU FRI SAT

SUMMER TIME
2:00:00
❶ 08- 3-30

サマータイム開始を設定する表示例です。
下段左側の ① が、サマータイム開始を表します。

図10. 2. 2

日 月 火 水 木 金 土
SUN MON TUE WED THU FRI SAT

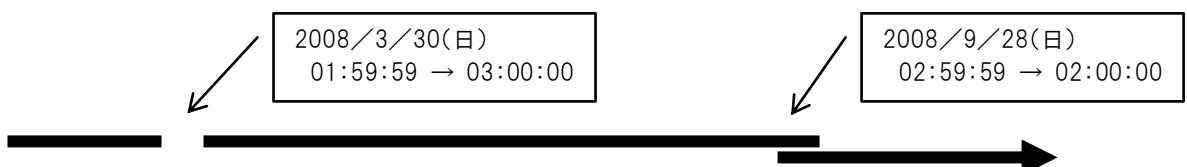
SUMMER TIME
3:00:00
❷ 08- 9-28

サマータイム終了を設定する表示例です。
下段左側の ② が、サマータイム終了を表します。

図10. 2. 3

図１０．２．２と図１０．２．３は、下記の条件で実施するサマータイムを設定したときの表示（設定）例です。

サマータイム実施期間
　２００８／３／３０（日）　午前２時　～　９／２８（日）　午前３時

上記設定をしたときの本機の時刻変化　（各モニタや子時計は、自動的に調針されます）

設定画面で点滅しているのが設定中の項目で、開始 年 → 月 → 日 → 時 → 終了 月 → 日 → 時の順で、数値を修正して決定します。

（１）開始 年 の設定

MODE	設定中に押すと常時モードに戻ります。 設定中に変更していたすべての項目の数値は無効になり、設定前のサマータイム設定がそのまま残ります。
＋	１回押すと 年 が ＋1 されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 年 が －1 されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 月 に進みます。

（２）開始 月 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 年 に戻ります。
＋	１回押すと 月 が ＋1 されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 月 が －1 されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 日 に進みます。

（３）開始 日 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 月 に戻ります。
＋	１回押すと 日 が ＋1 されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 日 が －1 されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 時 に進みます。

（４）開始 時 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 日 に戻ります。
＋	１回押すと 時 が ＋1 されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 時 が －1 されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 終了 月 に進みます。

（５）終了 月 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 開始 時 に戻ります。
＋	１回押すと 月 が ＋１ されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 月 が －１ されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 日 に進みます。

（６）終了 日 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 月 に戻ります。
＋	１回押すと 日 が ＋１ されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 日 が －１ されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	点滅（設定項目）が 時 に進みます。

（７）終了 時 の設定

MODE	設定中に押すと点滅（設定項目）が 日 に戻ります。
＋	１回押すと 時 が ＋１ されます。 押し続けると、連続して増加します。
－	１回押すと 時 が －１ されます。 押し続けると、連続して減少します。
SET	修正されたサマータイム設定を有効にして、常時モードに戻ります。

ご注意

サマータイム設定された期間内は、時計が1時間進みます。
デジタル表示は瞬時に変更され、各モニタや子時計も自動的に調整されますが、調針には時間がかかります。（調針にかかる時間は子時計の種類によります）
なお、標準電波（長波）修正の場合は、受信した電波の内容に従って自動的に調整されます。（調針が実施されるのは、受信できた時刻によります）

１０．３　ＦＭラジオ周波数設定（Ｒタイプ）

外部アンテナを接続したＱＣ－５５００シリーズＲタイプは、ＮＨＫ－ＦＭ放送の時報を受信して時計の誤差を修正します。
常時モードで “ラジオ周波数” を表示している状態で SET を押すと、設定モードになります。
設定モードでは、内蔵スピーカから音声が出力されますので、本機を設置および運用する地域のＮＨＫ－ＦＭ局に合わせて、明瞭に聞こえることを確認してください。

日 月 火 水 木 金 土
SUN MON TUE WED THU FRI SAT

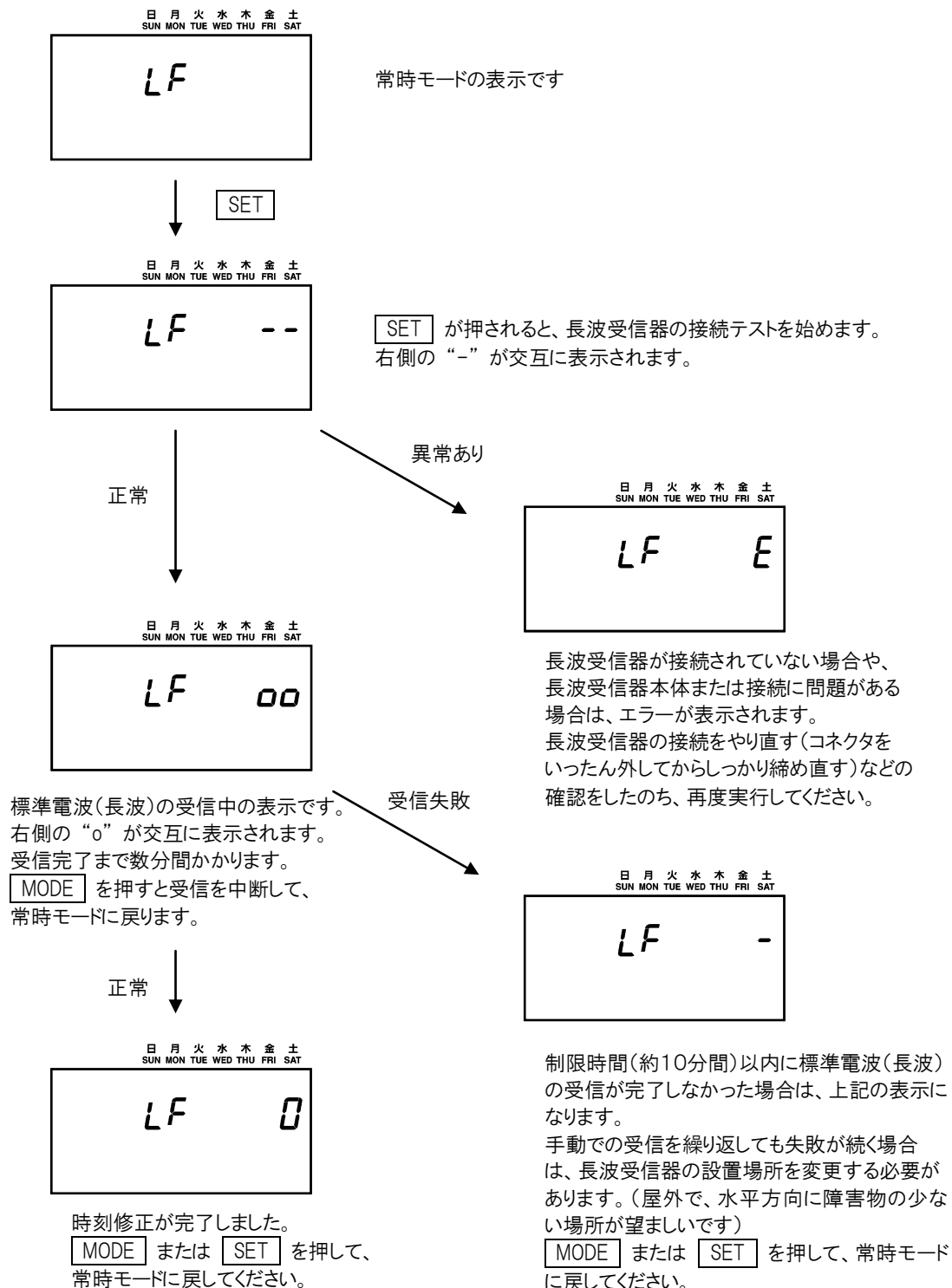
r d:82 5

（１）周波数 の設定

MODE	設定中に押すと常時モードに戻り、スピーカから音声出力も停止します。 設定中の変更は無効になり、設定前の周波数がそのまま残ります。
＋	１回押すと 周波数 が ＋０．１ されます。 押し続けると、連続して増加します。 ９０．０ＭＨｚの次は１ｃｈになり、３ｃｈの次は７６．０ＭＨｚになります。
－	１回押すと 周波数 が －０．１ されます。 押し続けると、連続して減少します。 ７６．０ＭＨｚの次は３ｃｈになり、１ｃｈの次は９０．０ＭＨｚになります。
SET	表示されている周波数を決定して、常時モードに戻ります。

１０．４　標準電波（長波）時刻修正

オプションの長波受信器 LFR-200R-10C を接続したときに、標準電波(長波)による時刻修正をします。常時モードのとき、毎時００分に、時刻修正が実施されます。

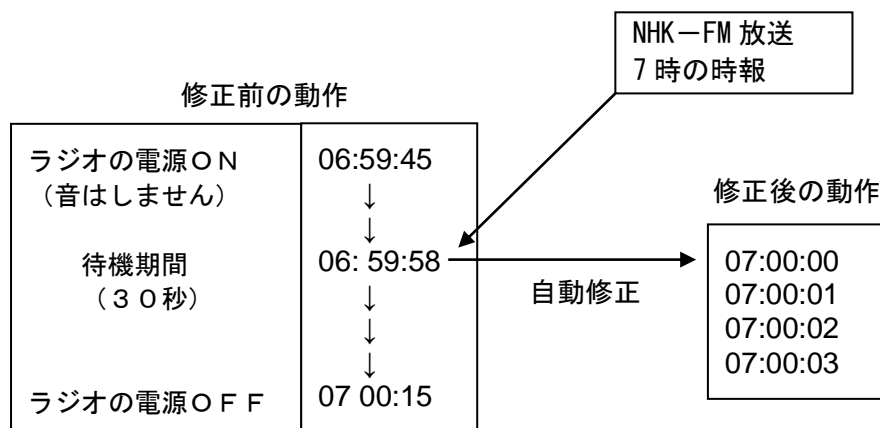
新たに長波受信器を接続したときや、強制受信を行いたいときは、常時モードで “標準電波（長波）” を表示している状態で SET を押して、長波受信器の接続確認と標準電波(長波)による時刻修正を行うことができます。

ご注意

上記の手順で標準電波(長波)受信を実行した場合は、必ず、常時モードに戻してください。
設定モードでは、定時(標準電波では毎時)の時刻修正が実施されません。

１１．時刻修正

１１．１　ＦＭラジオによる時刻修正（Ｒタイプ）

内蔵のＦＭラジオで、ＮＨＫ－ＦＭ放送の正時報（ポーンの音）を受信し、内部時計に生じたわずかな積算誤差を自動的に修正するものです。

例）７時直前で時計が２秒遅れていた場合

■仕様

○ 受信時刻	ＮＨＫ－ＦＭ：７時、１９時
○ 修正精度	±１００ｍｓ以下
○ 受信周波数	７６ＭＨｚ～９０ＭＨｚ （ご使用になる地域のＮＨＫ－ＦＭ放送に合わせてください。）
○ 感度	２５ｄＢｆ （音声が聞き取れることを目安としてください。）

普段時報の送出されている時間でも番組変更等により送出されない場合があります。

１１．２　標準電波による時刻修正（長波受信器 LFR－200R－10C［オプション］を接続）

■標準電波とは？

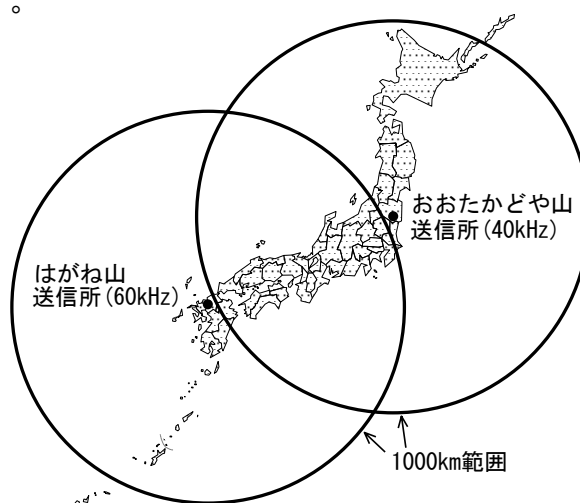
独立行政法人 情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用しており、高精度の時刻情報およびカレンダー情報が入った電波です。

標準電波は、国内の次の２カ所から送信されております。

①福島県南部の おおたかどや山 にある送信所　　　　周波数４０ｋＨｚ
②福岡県と佐賀県の県境にある はがね山 にある送信所　　　周波数６０ｋＨｚ

> 標準電波の詳細については、独立行政法人 情報通信研究機構(NICT)のホームページをご参照ください。
> 　ホームページアドレス http://jjy.nict.go.jp/

■電波受信可能範囲は？

送信所から約１０００ｋｍの範囲です。

■設置場所に関する注意は？

標準電波の受信は自動で行っていますが、受信可能な範囲であっても、天候、時間帯、地形や建物の影響などにより正常に受信できない場合があります。

また、設置場所の周囲から発生する電波ノイズの影響により、受信が妨害されることがあります。
（電気機器・変電所・高架・工事現場・交通量の多い場所 ････などの近傍はなるべく避ける）

このような電波の受信不良が頻繁に発生する場合は、長波受信器の設置場所や配線経路を変更するなどの対策を行ってください。

■仕様

- ○ 受信時刻　　　毎時００分
- ○ 修正精度　　　±１００ｍｓ以下
- ○ 受信周波数　　４０ｋHz／６０ｋHz （自動選択）
- ○ 感度　　　　　５０ｄＢｕＶ／m以下

１２．QC-5500 シリーズ　Ｉ／Ｆ

１２．１　シリアル出力信号

（１）出力形式と通信設定

出力形式

ＲＳ－４２２

通信設定

① 通信速度　：２４００ｂｐｓ
② 同期方式　：調歩同期（非同期）
③ 伝送フォーマット　：スタートビット･･･1bit
データビット　･･･8bit
パリティビット･･･なし
ストップビット･･･1bit

（２）データフォーマットと出力データタイミング

年（下２桁)、月、日、曜日、時、分、秒の日時データおよびタイミングデータを
毎秒１回出力します

日時データ（15 バイト固定長）

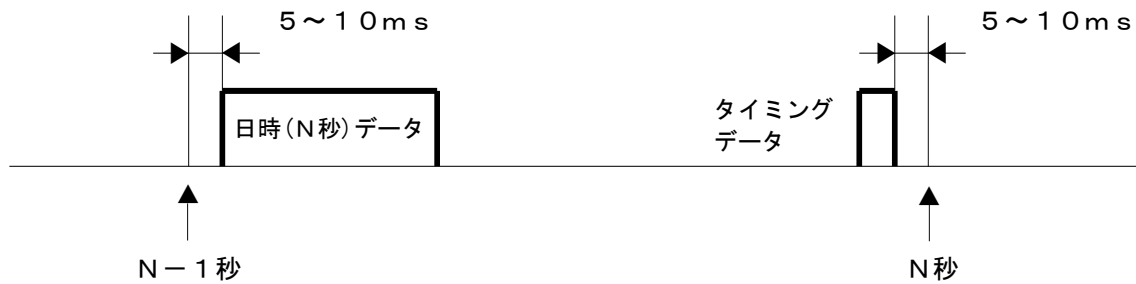
データ順	データ内容	キャラクタ	ＡＳＣＩＩコード
１	スタート	ＳＴＸ	０２Ｈ
２	１０年	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
３	１年	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
４	１０月	０～１	３０Ｈ～３１Ｈ
５	１月	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
６	１０日	０～３	３０Ｈ～３３Ｈ
７	１日	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
８	曜日	※１　０～６	３０Ｈ～３６Ｈ
９	１０時	０～２	３０Ｈ～３２Ｈ
１０	１時	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
１１	１０分	０～５	３０Ｈ～３５Ｈ
１２	１分	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
１３	１０秒	０～５	３０Ｈ～３５Ｈ
１４	１秒	０～９	３０Ｈ～３９Ｈ
１５	ストップ	ＥＴＸ	０３Ｈ

曜日（※１）

ｷｬﾗｸﾀ	０	１	２	３	４	５	６
内容	ＳＵＮ	ＭＯＮ	ＴＵＥ	ＷＥＤ	ＴＨＵ	ＦＲＩ	ＳＡＴ

タイミングデータ（３バイト固定長）

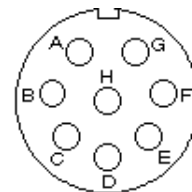
データ順	データ内容	キャラクタ	ＡＳＣＩＩコード
１	スタート	ＳＴＸ	０２Ｈ
２			Ｅ５Ｈ
３	ストップ	ＥＴＸ	０３Ｈ

出力データタイミング

１２．２　長波受信器 LFR-200R-10C のピン配置

丸形嵌合コネクタ　８ｐｉｎ　メス

ｐｉｎ	信号名	方向
Ａ	電源（＋４Ｖ）	出
Ｂ	Ｒｘ（＋）	入
Ｃ	Ｒｘ（－）	入
Ｄ	ＧＮＤ	－

ｐｉｎ	信号名	方向
Ｅ	Ｔｘ（＋）	出
Ｆ	Ｔｘ（－）	出
Ｇ	未使用	－
Ｈ	未使用	－

コネクタ型番：Ｒ０３－Ｒ８Ｆ（多治見）
適合ソケット：Ｒ０３－ＰＢ８Ｍ（多治見）

ピン配置（本体背面図）

※本コネクタは、オプションの長波受信器（ＬＦＲ－２００Ｒ－１０Ｃ）との接続に使用します。
※インターフェースの電気的仕様は、ＲＳ－４２２に準じます。

１３．電源ＬＥＤ

（１）交流電源で動作中
本製品に電源（ＡＣ１００Ｖ）が投入されている場合点灯します。

（２）停電時、バッテリまたは外部ＤＣ２４Ｖで動作中
交流電源が入力されていないときに点滅します。

１４．取り付け方法

取り付け・電気工事の禁止	お客様は、取り付け・電気工事および文中の「工事業者様へ」と書かれた枠内の作業を絶対に行わないでください。必ず、工事業者様へご依頼ください。感電・火災・落下の危険があります。	

工事業者様へ

１４．１　取り付け上の注意点

●取り付け場所の選択

	この製品は、屋外に設置しないでください。屋内用のため、水が浸入すると感電や火災の原因になります。	

	浴室や水場など湿気の多い所に設置しないでください。感電や火災の原因になります。	

温度、湿度、振動などを考慮し、環境の良い場所をお選びください。
特に、環境温度は－１０℃～＋５０℃の間の場所に設置してください。

●取り付け場所の強度

	取り付ける建造物の構造が、この製品の重さに十分耐えられることを確かめてください。強度の弱い所に取り付けた場合、振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。	

●電源

	ＡＣ１００Ｖ　５０/６０Ｈｚ　以外は使用しないでください。 それ以外の電源を使用すると感電や火災の原因になります。	

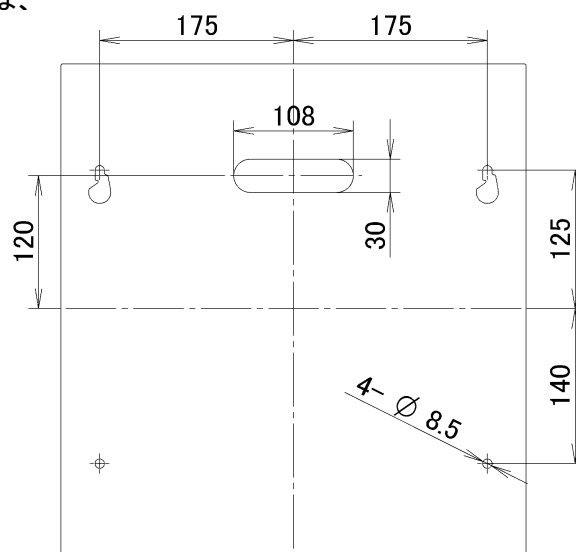
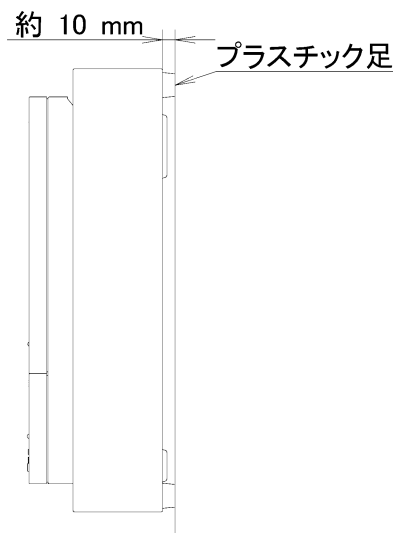
交流電源は昼夜連続使用しますので、専用電源をご使用ください。

●電気工事

	入出力端子台に結線するときは、ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚが供給されていないことと、バッテリが接続されていないことを確認してください。感電することがあります。	

●**電波修正機能付の製品は、ラジオが受信できる場所（電界強度の強い場所）に設置してください。**
屋内アンテナで受信しづらい場合は、屋外アンテナを使用してください。アンテナと本体の間は同軸ケーブルを使用してください。

１４．２　取り付け工事

製品の取り付けは、φ６ｍｍ～φ８ｍｍの取り付けボルト４本でしっかりと固定します。壁面がコンクリートの場合は、ＡＹプラグボルトを使用してください。取り付けには、付属の取付原寸図を使用すると便利です。
配線の都合で製品を壁面より浮かせて取り付ける場合は、付属のプラスチック足を４個取り付けます。

	警告	
警告	壁面がコンクリートの場合は、ＡＹプラグボルトをご使用ください。木ネジによる取り付けは、絶対に行わないでください。振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。	

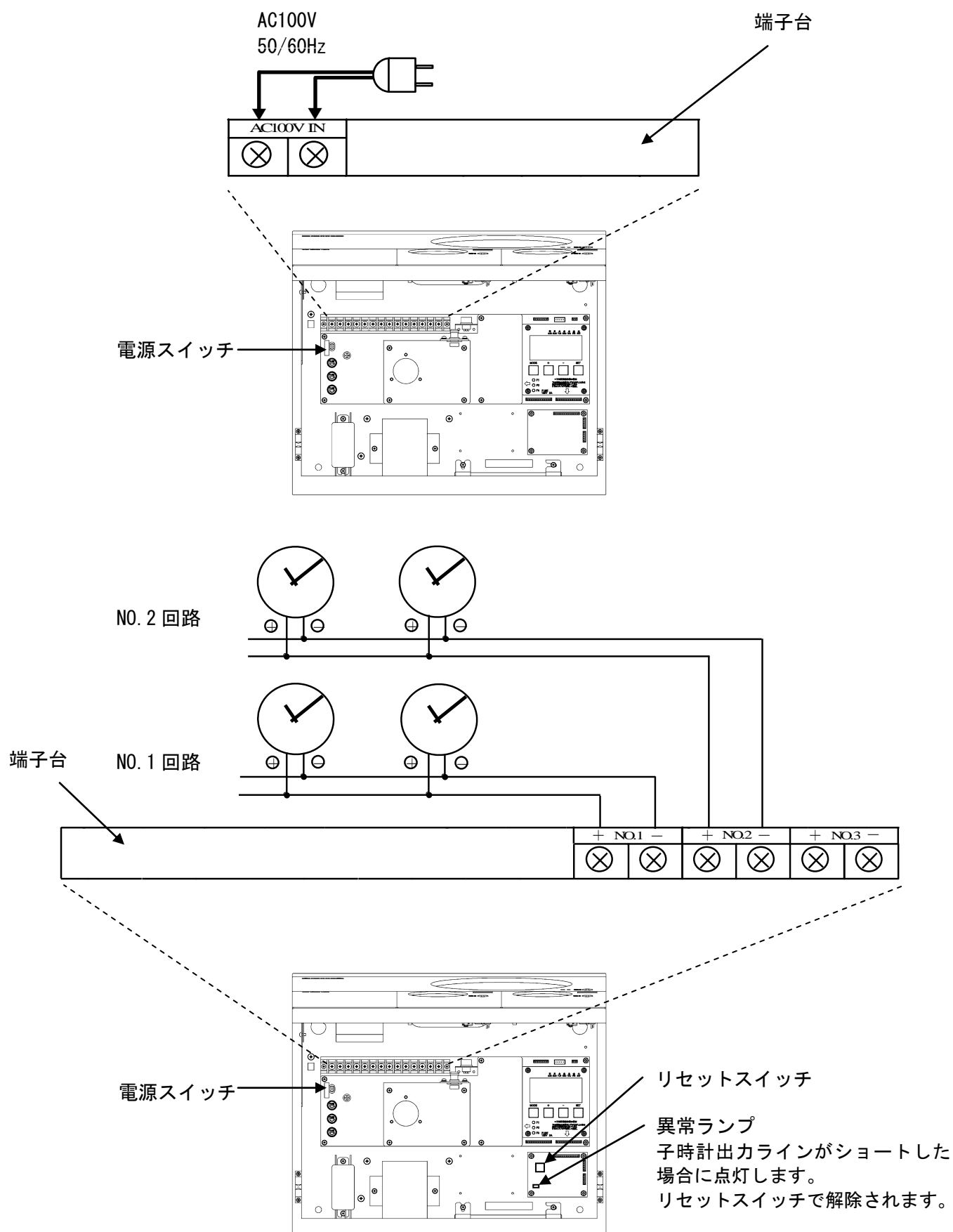
	警告	
警告	製品の取り付けネジは、十分締付けてください。締付けが不十分だと振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。	

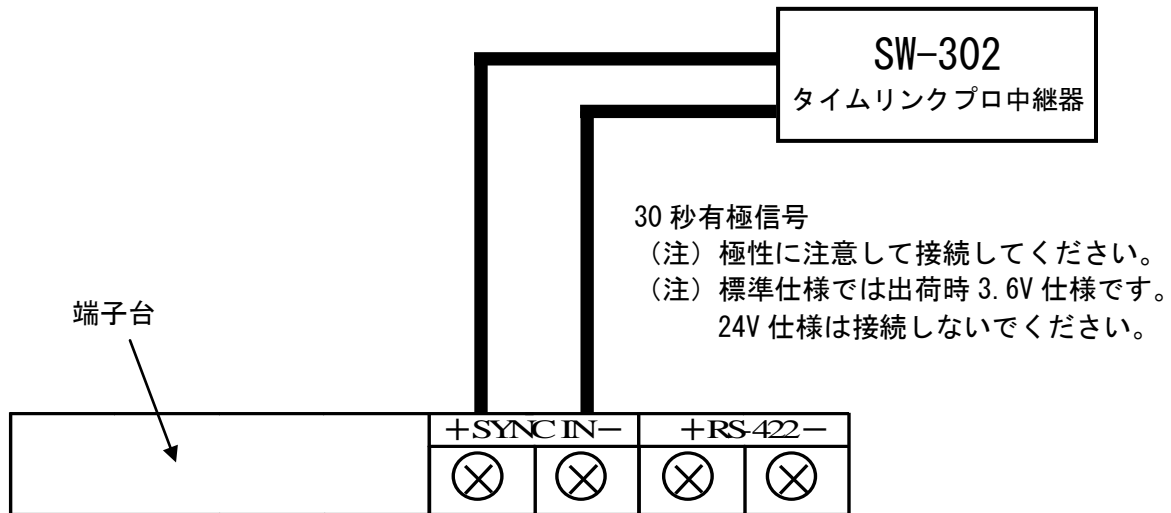
１４．３　配線および子時計取り付け上の注意点

・結線はいずれも内部中央の上方にある入出力端子台で行います。まず、下側から前枠部分を上向きに開けて、左側のステーを引っ掛けてください。
・背面にある入線孔から製品内部に電線を引き込んでください。
・入出力端子に結線するときには、付属の圧着端子を用いてしっかりと固定してください。
・子時計の結線は、極性を間違えますと常に指示時刻が３０秒狂うことになります。
　ご注意ください。
・製品と接続する子時計の間が最も遠い場所で１００ｍ以内の場所はφ１．２ｍｍ、３００ｍ以内の場所はφ１．６ｍｍの色別ビニル電線２本（赤と黒）をご使用ください。
・子時計回路の容量は１回路当り３６０ｍＡです。子時計１台の消費電流が１２ｍＡのとき、取り付け可能な子時計は最大３０台までです。
　時計の大きさ、種類によっては消費電流が異なるので、ご確認ください。
・子時計を取り付けるときには、子時計の指針のすべてを一定時刻（例えば１２時など）に合わせておいてください。機械体のふたを開け、内部に露出している歯車を指先で回して行います。指針が露出しているものは、指で直接分針を回してください。

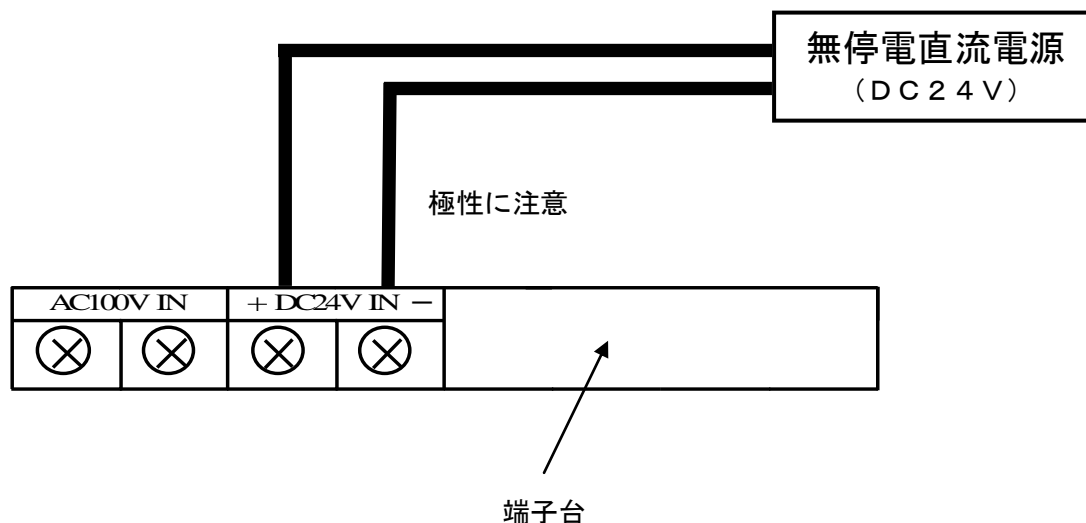
	警告	
警告	前枠を開けた状態に保持するステーはしっかりと固定してください。引っ掛けるなどして前枠が閉じてしまうと、製品の故障および人身事故にいたることがあります。	

１４．４　電源の接続と子時計の接続

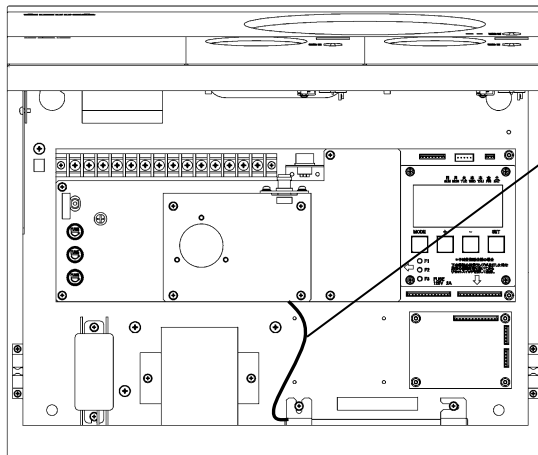
・ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚの接続と子時計の接続を、下の図に従って行ってください。

１４．５　外部同期入力接続

・外部親時計の子時計信号またはＳＷ－３０２の３０秒有極信号出力を外部同期入力に接続すると、同期して動作します。
・外部親時計が止まっても単独で動作します。
・外部親時計からの早送り信号には同期しません。正確な３０秒有極信号にのみ同期します。
・時計の誤差が±１５秒以上あるときには、外部信号には同期しません。
・常時モードのとき、外部親時計またはＳＷ－３０２に同期します。
・出荷時はＳＷ－３０２を接続する仕様になっています。ＳＷ－３０２を接続する場合は、ＳＷ－３０２の取扱説明書をご覧下さい。

※メイン基板(NO.2025-2 基板)上のｼﾞｬﾝﾊﾟｰﾎﾟｽﾄ(JP2,JP3)をｵｰﾌﾟﾝにすると２４Ｖ仕様になります。出荷後、仕様変更する場合は、ラベルライター等で２４Ｖ仕様であることが識別できるようにしてください。

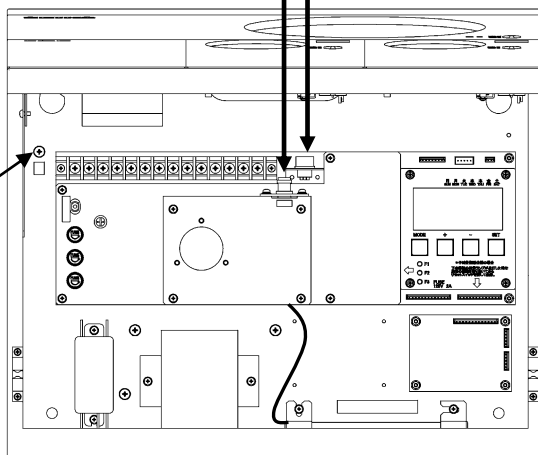
１４．６　外部直流電源入力（ＤＣ２４Ｖ）

この端子には無停電の直流電源を接続してください。

１４．７　バッテリの接続

QC-5500 シリーズは、子時計駆動用と制御回路用にニカド組電池を使用しています。

バッテリの接続は、取り付けおよび電気工事完了後、製品に電源が供給されていないことを確認し実施してください。感電することがあります。

ニカド組電池コネクタを
基板コネクタに接続してください。

１４．８　アースの接地、ＦＭラジオのアンテナの接続、長波受信器の接続

ＦＭアンテナ・基台セット（ＢＮＣコネクタを接続してください）

アンテナ・基台セットは、
屋内アンテナ（ANT-FM3・BASE-FM3）または
屋外アンテナ（ANT-FM4・BASE-FM4）
でオプションです。

長波受信器（LFR-200R-10C）は、オプションです。
長波受信器を接続する場合は、長波電波修正機能付（Ｌタイプ）を使用してください。

警告

製品のアース端子にアース線を取り付けてください。アース線が取り付いていないと、故障や漏電のとき感電することがあります。なお接地はＤ種接地以上の工事を施工してください。

１５．故障と思われる前に

● まず、次のことを確認して下さい。

（１）　電源が入らない

・規定の電源が供給されていますか？　　　ＡＣ１００Ｖ±１０％（５０／６０Ｈｚ）

・電源スイッチは「入」になっていますか？

（２）　時刻・日付の設定ができない

・日付・時刻設定が途中ではありませんか？
設定途中の場合、年月日時分秒のいずれかの桁が点滅表示しています。
（設定方法の詳細は１０．１日付・時刻の設定を参照してください。）

（３）　親モニタの調針スイッチを「調整」にしても子モニタが調針しない

・子モニタの調針スイッチが「正常」になっていますか

・子時計の異常ランプが点灯していませんか
（子時計の配線を確認後、リセットスイッチを押してリセットしてください。）

（４）　子モニタの調針スイッチを「調整」にしても調針しない

・子時計の異常ランプが点灯していませんか
（子時計の配線を確認後、リセットスイッチを押してリセットしてください。）

（５）　子時計の時刻が３０秒ずれる

・極性が逆ではありませんか？

（６）　シリアル時刻出力が出力されない。（ＲＳ－４２２）

・ケーブルが断線していたり、長すぎたりしませんか？
（入力回路に合わせて、適正な線材と長さで使用してください。）

・極性が逆ではありませんか？

（７） 時刻修正を行わない

（ＦＭラジオの場合）

・ラジオの周波数をご使用地域のＮＨＫ−ＦＭ放送に合わせていますか？
（その他の放送局では時刻修正を行ないません。）

・ラジオ放送は聞き取れますか？
（受信状態が悪いと修正を行わなかったり、修正精度が低下したりします。）

・あらかじめ時刻を合わせてありますか？
（はじめに現在時刻を±１５秒以内に合わせておく必要があります）

（標準電波の場合）

・本体背面のアース端子にアース線が接続されていますか？
（本体がアースに接続されていないと、電波が受信しにくくなることがあります。）

・本体と長波受信器をつなぐケーブル及びアース線は、できるだけ他の配線と離して設置してください。（特にＡＣケーブルのような電力線と束ねたり、電子機器に密着させたりしますと、電波が受信しにくくなることがあります。）

・本体を設置する場所は、出来るだけ他の電子機器から遠ざけて下さい。
ラックに固定する場合も、他の機器からの距離や、配線を考慮して適正な位置に固定するようにして下さい。

・長波受信器は屋外の出来るだけ見晴らしのよい場所に設置して下さい。
（ビルの密集している場所や山に囲まれている地域では、電波が充分に届かないことがあります。また、電気機器・変電所・高架・工事現場・交通量の多い場所の近傍は電波ノイズが発生し、受信に悪影響を及ぼします。）

以上の確認で直らないとき、またはその他の異常が発生したときは、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご連絡ください。

	修理は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。修理技術者以外の人が分解したり修理・改造を行うと感電や火災の原因になります。	

１６．バッテリの交換について

お客様へ

- 本製品はバッテリを使用しています。このバッテリは消耗品であり、製品の性能を維持するためにも４～５年を目安に定期的に交換を行ってください。

お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。
感電することがあります。

工事業者様へ

- 本製品に使用している『ニカド組電池』は専用のバッテリです。必ず弊社指定のバッテリをご使用ください。
- テスタ等によるバッテリ電圧測定では、バッテリの劣化の状態は把握できません。製品の性能を維持するためにも、４～５年を目安に定期的にバッテリ交換を行ってください。
- 製品のバッテリ交換をする場合は、配線の接続を必ず元通りの状態に戻してください。誤った接続をすると、ヒューズ切れ、製品の破損につながる場合があります。

本製品には、必ず指定のバッテリをご使用ください。

充電式電池リサイクルにご協力を

本製品のバッテリは、充電式電池を使用しています。充電式電池にはリサイクル可能な貴重な資源が使われています。ご使用後の充電式電池につきましては、お買い上げ頂いた販売店もしくは販売会社までご連絡ください。

１７．お客様へのお願い

１７．１　ヒューズの交換について

⚠ 警告	ヒューズの交換作業は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。お客様が交換作業を行うと感電することがあります。	

１７．２　外装の手入れの仕方

外装の汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量やわらかい布につけて拭き、
拭いた後で乾拭きをしてください。
ベンジン、シンナー、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。

１８．保証について

- この製品の修理用部品の保存期間は、通常７年を基準としています。正常なご使用であればこの期間は原則として修理は可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するのに不可欠な、製品本体の部品です。
- 修理の可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なりますし、精度も元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品などは、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- その他ご不明の点がありましたら、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へお問い合わせください。

１９．ＮＨＫ－ＦＭ放送局周波数一覧

県名	地名	周波数[MHz]	出力[W]
北海道	札幌	８５．２	５０００
	名寄	８８．２	１０００
	知駒	８９．１	１０００
	中標津	８９．９	１０００
	旭川	８５．８	５００
	北見	８６．０	２５０
	函館	８７．０	２５０
	帯広	８７．５	２５０
	室蘭	８８．０	２５０
	釧路	８８．５	２５０
	羽幌	８３．８	１００
	遠軽	８３．８	１００
	広尾	８３．８	１００
	富良野	８４．２	１００
	岩内	８４．２	１００
	歌志内	８４．３	１００
	奥尻大成	８４．３	１００
	稚内	８４．５	１００
	新北見	８４．５	１００
	小樽	８４．５	１００
	小樽	８４．６	１００
	振内	８４．８	１００
	留萌	８４．８	１００
	紋別	８５．１	１００
	北桧山	８６．０	１００
	浦河	８６．１	１００
	江差	８９．７	１００
	ニセコ	７８．９	３０
	南羊蹄	８３．１	３０
	芦別	８３．８	３０
	札幌大通	８１．６	１０
	日浦	８３．６	１０
	滝上	８３．６	１０
	夕張	８３．９	１０
	本別	８３．９	１０
	静内	８４．０	１０
	深川	８４．０	１０
	陸別	８４．４	１０
	上川	８４．５	１０
	丸瀬布	８４．５	１０
	黒松内	８４．６	１０
	礼前	８４．７	１０
	根室	８５．６	１０
	島牧	８５．７	１０
	松前	８５．７	１０
	夕張清水沢	８５．９	１０
	羅臼	８８．８	１０
	礼文	８９．７	１０
	足寄	８９．７	１０
	枝幸	８９．９	１０
	新得	８３．５	３
	渡島福島	８４．２	３
	日高	８４．１	１
	夕張鹿島	８４．３	１
	幾寅	８４．７	１
	登別	８４．９	１
	厚岸	８５．５	１
	弟子屈	８９．５	１
青森県	青森	８６．０	３０００
	八戸	８１．８	５００
	むつ	８２．７	１００
	上北鳥帽子	８３．４	１０
	深浦	８４．３	１０
	南鰺ヶ沢	８５．０	１０
岩手県	盛岡	８３．１	１０００
	宮古	８３．５	１００
	二戸	８４．９	１００
	釜石	８５．１	１００
	野田	８５．５	１００
	岩泉	８４．３	３０
	釜石鈴子	８１．４	１０
	室根	８１．６	１０
	陸前高田	８３．５	１０
	一関	８３．８	１０
	大船渡	８４．３	１０
	遠野	８４．５	１０
	沢内	８４．５	１０
	普代田野畑	８６．５	１０
	種市	８９．９	１０
	葛巻	８９．９	１０
	湯田	８３．６	３
	安代田山	８９．５	３
	大槌	８３．６	１
	山田	８４．０	１
	西根松尾	８７．６	１

県名	地名	周波数[MHz]	出力[W]
宮城県	仙台	８２．５	５０００
	気仙沼	８４．６	１００
	鳴子	８５．２	１０
	志津川	８５．２	１０
	白石	８４．３	１
秋田県	秋田	８６．７	３０００
	能代	８３．６	１００
	花輪	８３．８	１００
	湯沢	８４．９	１００
	大館	８８．３	１００
	二ツ井	８２．５	１０
	本荘	８３．９	１０
	阿仁	８４．５	３
	東由利	８５．３	３
	角館	８５．８	３
	矢島	８５．２	１
	花矢	８５．７	１
	田沢湖	８９．９	１
山形県	山形	８２．１	１０００
	鶴岡	８６．０	２５０
	長井	８４．６	１００
	新庄	８８．３	５０
	米沢	８４．２	１０
	温海	８４．８	１０
	小国	８９．８	１０
	白鷹	８４．０	１
福島県	福島	８５．３	１０００
	会津若松	８５．９	２５０
	勿来	８３．６	１００
	白河	８４．３	１００
	いわき	８６．１	１００
	相馬原町	８３．３	３０
	東只見	８３．７	１０
	塙	８３．８	１０
	東金山	８４．１	１０
	富岡	８４．５	１０
	南郷	８４．５	１０
	柳津三島	８４．９	１０
	田島	８５．０	１０
	小野	８４．０	３
	月館	８４．６	３
	只見	８４．８	１
茨城県	水戸	８３．２	１０００
	北茨城	８２．９	１００
	日立	８４．２	１００
	大子	８４．８	１０
栃木県	宇都宮	８０．３	１０００
	足利	８３．７	３０
	葛生	８２．９	１０
	今市	８４．０	３
	塩原	８４．９	１
	足尾	８６．５	１
群馬県	前橋	８１．６	１０００
	榛名	８０．５	５０
	沼田	８３．４	１０
	利根	８３．８	１０
	草津	８４．２	１０
	長野原	８３．１	１
埼玉県	さいたま	８５．１	５０００
	秩父	８３．５	５０
千葉県	千葉	８０．７	５０００
	勝浦	８３．７	１００
	銚子	８３．９	３０
	館山	７９．０	１０
	白浜	８２．９	１
東京都	東京	８２．５	１００００
	新島	７７．５	１００
	八丈	８２．９	１０
神奈川県	横浜	８１．９	５０００
	小田原	８３．５	１００
新潟県	新潟	８２．３	１０００
	大和	８３．５	１０００
	糸魚川	８５．１	１００
	高田	８６．０	３０
	松代	８４．４	１０
	津川	８５．１	１０
	安塚	８５．２	１０
	能生	８５．５	１０
	府屋	８５．６	１０
	高千	８６．１	１０
	津南	８７．０	１０
	越後湯沢	８５．３	１
	両津	８６．９	１
	相川	８７．５	１
富山県	富山	８１．５	１０００
	宇奈月	８４．９	１０

県名	地名	周波数[MHz]	出力[W]
石川県	金沢	８２．２	１０００
	羽咋	８３．０	１００
	珠洲	８３．２	１００
	輪島	８３．９	１００
	七尾	８４．４	１００
	東門前	８４．８	１０
	富来	８５．３	３
	輪島町野	８３．６	１
	山中	８４．２	１
福井県	福井	８３．４	１０００
	小浜	８７．８	１００
	敦賀	８４．９	１０
	美浜	８５．９	１０
	大野	８６．０	１０
	高浜	８８．８	３
	越前	８５．７	１
山梨県	甲府	８５．６	１０００
	身延	８４．７	１００
	三ツ峠	８６．０	１００
長野県	長野	８４．０	５００
	飯田	７７．４	１００
	聖	８３．０	１００
	小海	８４．９	１００
	倉本	８５．６	１００
	善光寺平	８５．７	１００
	岡谷諏訪	８５．３	５０
	南木曽	８２．０	１０
	信濃阿南	８２．８	１０
	木曽福島	８２．９	１０
	松本	８４．８	１０
	高遠	８５．０	１０
	遠山	８５．１	１０
	牟礼	８５．４	１０
	飯山	８２．８	３
	白馬	８３．３	３
	小谷	８４．７	３
	辰野	８５．７	３
	天竜平岡	８５．９	３
	木曽楢川	８３．２	１
	栄村	８４．９	１
	戸倉上山田	８９．８	１
	鬼無里	８９．８	１
岐阜県	岐阜	８３．６	１０００
	土岐南	８４．８	１００
	郡上八幡	８５．６	１００
	中津川	８５．８	１００
	飛騨金山	８３．１	１０
	宮	８４．３	１０
	下呂	８４．４	１０
	神岡	８５．３	１０
	高山	８６．１	１０
	小坂	８５．６	３
静岡県	静岡	８８．８	１０００
	浜松	８２．１	２５０
	中川根	８３．４	１００
	熱海	８４．２	１００
	伊豆長岡	８５．３	１００
	島田	８３．０	３０
	東伊豆	８３．３	１０
	御殿場	８３．８	１０
	下田	８４．１	１０
	春野	８４．５	１０
	佐久間	８４．８	１０
	芝川	８４．９	１０
	河津	８２．２	３
	東佐久間	８３．８	３
	水窪	８４．１	１
愛知県	名古屋	８２．５	１００００
	設楽	８３．３	１００
	豊橋	８５．３	５０
三重県	津	８１．８	３０００
	磯部	８２．８	１００
	名張	８４．４	１００
	尾鷲	８４．５	１００
	大宮	８４．１	１０
	熊野	８４．９	１０
	宮川	８１．４	１
	鳥羽	８４．７	１
	輪内	８４．７	１
滋賀県	大津	８４．０	１０００
	信楽	８８．９	１０
	山東	８３．１	３
京都府	京都	８２．８	１０００
	峰山	８３．５	１００
	舞鶴	８４．２	１００
	福知山	８４．８	５０
	丹波美山	８３．６	１０
	宮津	８６．１	１０
	京北	８７．９	１０
	綾部八津合	８１．９	３

県名	地名	周波数[MHz]	出力[W]
大阪府	大阪	８８．１	１００００
	中能勢	８２．５	１０
兵庫県	姫路	８４．２	１０００
	神戸	８６．５	１０００
	八鹿	８２．４	１００
	波賀	８２．７	１００
	山崎	８３．０	１００
	香住	８３．２	１００
	村岡	８４．４	１００
	佐用	８５．３	１００
	氷上	８８．６	１００
	西脇	８９．２	１００
	温泉	８２．０	１０
	相生	８２．８	１０
	淡路三原	８２．９	１０
	川西北	８３．１	１０
	赤穂	８３．２	１０
	上郡	８３．６	１０
	篠山	８３．８	１０
	城崎	８３．９	１０
	西宮山口	８３．９	１０
	和田山	８４．５	１０
	生野	８５．９	１０
	北阪神	８８．６	１０
	一宮三方	８９．８	１０
	大屋	８８．８	３
	千種	８３．８	１
	一宮安積	８８．４	１
奈良県	奈良	８７．４	５００
	宇陀	８８．５	１００
	榛原	８３．７	３０
	山添	８２．３	１０
	川上東川	８３．３	１０
	下北山	８３．４	１０
	十津川小原	８４．７	１０
	御杖土屋原	８４．８	１０
	西吉野	８９．０	１０
	天川川合	８９．６	１０
	東生駒	８３．４	３
和歌山県	和歌山	８４．７	５００
	田辺	８１．８	１００
	新宮	８３．８	１００
	御坊	８３．９	１００
	九度山	８３．２	３０
	紀伊清水西	８２．７	１０
	本宮	８４．４	１０
	すさみ	８５．２	１０
	串本	８５．４	１０
鳥取県	鳥取	８５．８	５００
	日野	８４．０	１００
	用瀬	８４．９	１００
	若桜	８３．７	１０
	岩美	８３．８	１０
	米子日南	８５．３	１０
	智頭	８４．４	３
島根県	浜田	８５．８	１０００
	松江	８４．５	５００
	横田	８３．６	１００
	西の島	８０．４	１０
	西郷	８１．５	１０
	瑞穂	８４．２	１０
	邑智	８５．０	１０
	大田	８５．４	１０
	大東	８５．５	１０
	津和野	８９．８	１０
	日原	８４．７	３
	川本	８７．４	３
	石見大和	８７．８	３
	石見	８５．１	１
	木次	８５．１	１
岡山県	岡山	８８．７	１０００
	笠岡	８３．７	１００
	津山	８５．５	１００
	備前	８２．６	１０
	久世	８３．９	１０
	柵原	８４．７	１０
	大原	８４．９	１０
	児島	８５．６	１０
	新見	８６．０	１０
	高梁	８７．９	１０
	有漢	８２．５	３
	井原	８２．９	３
	北房	８４．６	３
	和気	８２．０	１
	哲西	８４．１	１
	三石	８４．５	１
	美作加茂	８６．３	１
	日生	８３．３	０．５
広島県	広島	８８．３	１０００
	福山	８４．８	２５０
	豊栄	８１．９	１００
	南加計	８２．０	１００
	安芸千代田	８３．０	１００
	三次	８４．５	１００
	佐東	８４．３	３０
	福山蔵王	８５．７	３０
	五日市	８０．１	１０
	世羅甲山	８２．４	１０
	油木	８２．６	１０
	甲奴	８３．１	１０
	西条	８３．３	１０
	呉	８３．７	１０
	府中	８４．１	１０
	大崎	８４．２	１０
	安芸佐伯	８８．９	１０
	大朝	８３．３	３
	東城	８３．３	３
	可部	８３．４	３
	西城	８５．１	３
	黒瀬	８２．８	１
	三原	８３．１	１
	因島	８３．５	１
	吉田	８５．５	１
山口県	山口	８５．３	５００
	萩	８２．４	１００
	宇部	８３．３	１００
	柳井	８４．０	１００
	下関	８３．１	５０
	美祢	８４．５	５０
	山口豊浦	８１．３	１０
	豊北	８１．９	１０
	東和	８２．５	１０
	山口錦	８３．１	１０
	山口豊田	８３．８	１０
	阿東	８４．２	１０
	岩国	８５．０	１０
	山口鴻ノ峰	８５．９	１０
	長門	８３．５	３
徳島県	徳島	８３．４	１０００
	日和佐	８５．７	１００
	阿南	８１．３	１０
	鷲敷	８２．０	１０
	一宇	８２．５	１０
	東祖谷山	８４．３	１０
	神山	８４．９	１０
	池田	８５．０	１０
	美馬	８５．６	１０
	上勝	８２．４	３
	一宇剪宇	８３．９	１
	阿波	８４．４	１
	阿波勝浦	８５．６	１
	宍喰	８９．９	１
香川県	高松	８６．０	１０００
愛媛県	松山	８７．７	１０００
	宇和島	８４．８	１００
	八幡浜	８６．５	１００
	新居浜	８７．０	１００
	大洲	８５．９	３０
	南宇和	８３．５	１０
	大三島	８３．８	１０
	中山	８５．１	１０
	城辺	８５．４	１０
	美川	８５．５	１０
	野村	８５．６	１０
	久万	８６．８	１０
	小田	８８．７	１０
	菊間	８２．２	３
	川之江	８４．４	３
高知県	高知	８７．５	５００
	中村	８４．４	１００
	宿毛	８２．５	３０
	土佐村	８２．９	１０
	安芸	８３．８	１０
	吾川村	８４．８	１０
	須崎	８４．９	１０
	大豊	８５．６	１０
	土佐大月	８５．９	１０
	室戸岬	８６．８	１０
	室戸	８９．１	１０
	窪川	８３．７	１
	佐川	８４．０	１
	中土佐	８４．２	１
	豊永	８５．０	１
	十和	８５．２	１
	仁淀	８５．８	１
	東洋野根	８７．８	１
	物部	８９．９	１
福岡県	福岡	８４．８	３０００
	北九州	８５．７	２５０
	門司	８２．２	１００
	久留米	８３．４	３０
	行橋	８３．６	３０
	大牟田	８５．８	３０
	筑前山田	８２．９	１０
佐賀県	佐賀	８１．６	５００
	備前有田	８８．９	１
長崎県	長崎	８４．５	５００
	佐世保	８６．０	２５０
	厳原	８２．６	１００
	大瀬戸	８２．８	１００
	郷ノ浦	８３．３	１００
	福江	８３．５	１００
	有川	８２．７	１０
	諫早	８３．０	１０
	平戸	８３．９	１０
	松浦	８４．２	１０
	南有馬	８１．７	３
	島原	８２．７	１
	東長崎	８３．８	１
	宇久	８８．０	１
熊本県	熊本	８５．４	１０００
	水俣	８２．５	１００
	人吉	８２．８	５０
	南阿蘇	８３．８	１０
	肥後小国	８３．９	１０
	河浦	８４．２	１０
	矢部	８９．８	１０
	天草	８２．９	３
	阿蘇	８６．３	３
	芦北	８１．５	１
	坂本	８３．１	１
	牛深	８３．３	１
大分県	大分	８８．９	１０００
	玖珠	８２．３	１００
	東蒲江	８０．４	１０
	国東	８３．５	１０
	津久見	８３．８	１０
	日田	８４．２	１０
	宇目	８４．２	１０
	蒲江	８４．３	１０
	安心院	８４．６	１０
	佐伯	８４．６	１０
	竹田	８６．０	１０
	中津	８６．２	１０
	本耶馬渓	８６．８	１０
	三重	８５．０	３
	山国	８２．６	１
宮崎県	宮崎	８６．２	５００
	延岡	８７．０	１００
	高千穂	８８．１	１００
	串間	８５．２	１０
	椎葉	８８．２	１０
	入郷	８５．２	３
	東郷	８４．０	１
	日向西郷	８５．８	１
鹿児島県	種子島	８４．４	１０００
	鹿児島	８５．６	１０００
	徳之島	８１．６	１００
	名瀬	８２．２	１００
	阿久根	８３．７	１００
	知名	８４．０	１００
	鹿屋	８４．１	１００
	瀬戸内	８４．５	１００
	枕崎	８４．７	１００
	末吉	８４．９	１０
	粟野	８５．９	１０
	東市来	８４．３	１
沖縄県	平良	８５．０	１０００
	沖縄	８８．１	１０００
	今帰仁	８４．８	１００
	石垣	８７．０	１００
	久米島	８４．２	１０
	与那国	８５．８	１０

２０．仕様

ＱＣ－５５００シリーズ本体

機能			仕様		
機能	型式名		QC-5510 QC-5510R QC-5510L	QC-5520 QC-5520R QC-5520L	QC-5530 QC-5530R QC-5530L
	子時計回路数		１回路	２回路	３回路
親時計	水晶発振周波数		４．１９４３０４ＭＨｚ		
	時計精度		週差±０．７秒以内（＋５℃～＋３５℃）、時刻修正時は積算誤差０秒		
	時計表示	親時計	年、月、日、時、分、秒　デジタル２４時制表示（停電時非表示）		
		ﾓﾆﾀ時計	３０秒間欠運針		
	時刻合わせ	親時計	年、月、日、時、分、秒　設定		
		ﾓﾆﾀ時計	ＡＰＣ方式による６０倍速自動早送り装置付		
	サマータイム		開始は年月日時、終了は月日時を設定		
	子時計駆動	駆動信号	ＤＣ２４Ｖ　３０秒有極信号　パルス幅０．５秒　無接点		
		最大駆動数	３０台	６０台	９０台
			１台１２ｍＡ、３０台／１回路		
		最大駆動容量	３６０ｍＡ	７２０ｍＡ	１０８０ｍＡ
			３６０ｍＡ／１回路		
		停電時電源	ＤＣ２４Ｖ　密閉型ニッケル・カドミウム蓄電池を本体に内蔵		
		電池保護	過放電防止回路		
		信号電圧検知	信号電圧停止装置（子時計駆動電圧低下時に出力停止）		
	外部同期入力		３０秒有極信号　７時、１９時、０時、１２時以外毎時　同期可能誤差範囲±１５秒以内		
	外部同期出力		ＲＳ－４２２		
入力電源			ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ　または　ＤＣ２４Ｖ±１０％ ※外部同期出力、ＦＭ電波修正機能（Ｒタイプ）および長波電波修正機能（Ｌタイプ）は、ＡＣ１００Ｖ動作時のみ対応しています		
消費電力	標準		２０Ｗ	３０Ｗ	４０Ｗ
	Ｒ付		２０Ｗ	３０Ｗ	４０Ｗ
	Ｌ付		２０Ｗ	３０Ｗ	４０Ｗ
停電補償時間	親時計		約５年（デジタル表示は非表示、時間カウントのみ）		
	子時計駆動		３０時間（３０時間を超える停電時は停電復帰時に自動調針）		
使用温度範囲			－１０℃～＋５０℃		
外形寸法			Ｗ４２０×Ｈ３５４×Ｄ１１０　　単位：mm		
質量			約７．０kg	約７．２kg	約７．５kg
ケース			前枠：ＡＢＳおよび鋼板、ﾊﾟｰﾙｸﾞﾚｰ３分ツヤ有り、後枠：鋼板、ﾊﾟｰﾙｸﾞﾚｰ３分ツヤ有り		
付属品			プラスチック足、ミニヒューズ、取扱説明書、取付原寸図、絶縁被覆付圧着端子		
オプション			屋内アンテナ(ANT-FM3,BASE-FM3)、屋外アンテナ(ANT-FM4,BASE-FM4)、ＦＭ電波修正ユニット、長波受信器 LFR-200R-10C、長波用ハーネス、ラックマウント金具（EIA 規格）		

<table>
<tr><td rowspan="3">機能</td><td colspan="4">仕　　　　様</td></tr>
<tr><td colspan="2">型式名</td><td>QC-5510
QC-5510R
QC-5510L</td><td>QC-5520
QC-5520R
QC-5520L</td><td>QC-5530
QC-5530R
QC-5530L</td></tr>
<tr><td colspan="2">子時計回路数</td><td>１回路</td><td>２回路</td><td>３回路</td></tr>
<tr><td rowspan="11">電波修正</td><td rowspan="8">ラジオ（Ｒ付）</td><td>動作方式</td><td colspan="3">ＮＨＫ－ＦM放送の時報を検出し、親時計を修正する</td></tr>
<tr><td>修正可能誤差範囲</td><td colspan="3">±１５秒以内</td></tr>
<tr><td>時刻修正回数</td><td colspan="3">ＮＨＫ－ＦＭ　1日2回（7時、１９時）</td></tr>
<tr><td>受信方式</td><td colspan="3">スーパーヘテロダイン方式</td></tr>
<tr><td>同調方式</td><td colspan="3">ＰＬＬ方式</td></tr>
<tr><td>選局方法</td><td colspan="3">キーにより選局</td></tr>
<tr><td>受信周波数範囲</td><td colspan="3">ＦＭ　７６ＭＨｚ～９０ＭＨｚ（０．１ＭＨｚステップ）</td></tr>
<tr><td>受信感度</td><td colspan="3">２５ｄＢｆ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">長波（Ｌ付）</td><td>受信周波数</td><td colspan="3">標準電波４０／６０ｋＨｚ（自動切換え方式）</td></tr>
<tr><td>受信感度</td><td colspan="3">５０ｄＢμＶ／ｍ
長波受信器に付属の専用ケーブルを使用してください</td></tr>
<tr><td>時刻修正回数</td><td colspan="3">１日２４回毎正時に実施</td></tr>
</table>

オプション【長波受信器 ＬＦＲ－２００Ｒ－１０Ｃ】

長波標準電波 受　信　部	受　信　周　波　数	４０ＫＨｚ／６０ＫＨｚ（自動選択）
	受　信　感　度　※１	５０ｄＢμＶ／ｍ 以下
	修　正　精　度　※２	±１００ｍｓ以下
電　　　源	ＤＣ４．０Ｖ	
動作温度範囲	－２０℃ ～ ＋６０℃　防雨型	
構　　　造	外　形　寸　法	Ｗ１４２×Ｈ６７×Ｄ１１０　　単位：ｍｍ
	ケ　ー　ブ　ル　長	約１０ｍ
	質　　　量	約４２０ｇ　（本体のみ）

オプション【ラックマウント金具】

Ｅ　Ｉ　Ａ　用	Ｅ３５４	外形寸法：Ｗ４８０×Ｈ３５４（本体に取付状態の寸法）　単位：ｍｍ 質　　量：約２ｋｇ 外装仕上：鋼板　塗装（パールグレー３分ツヤ有り）
	Ｅ４４２	外形寸法：Ｗ４８０×Ｈ４４２（本体に取付状態の寸法）　単位：ｍｍ 質　　量：約２．５ｋｇ 外装仕上：鋼板　塗装（パールグレー３分ツヤ有り）

オプション【ＦＭアンテナ】

屋　内　用	ＡＮＴ－ＦＭ３	ＢＮＣコネクタ、可倒式
	ＢＡＳＥ－ＦＭ３	ＡＮＴ－ＦＭ３用基台、同軸ケーブル１０ｍ
屋　外　用	ＡＮＴ－ＦＭ４	Ｍ型コネクタ、固定式
	ＢＡＳＥ－ＦＭ４	ＡＮＴ－ＦＭ４用基台、同軸ケーブル１０ｍ

別売品【タイムリンクプロ中継器 ＳＷ－３０２】

無　　線 送　信　部	種　　　類	特定小電力無線
	周　波　数	４２６．１２５０ＭＨｚ
	出　　　力	１ｍＷ
電　　　源	ＡＣ１００Ｖ（ＡＣアダプタ付属）	
動作温度範囲	０℃ ～ ＋５０℃　屋内専用	
構　　　造	外　形　寸　法	Ｗ１１０×Ｈ９０×Ｄ３０．３　（突起部除く）　単位：ｍｍ
	質　　　量	約４３０ｇ　（本体＋ＡＣアダプタ）

※１．長波標準電波受信に最低限必要な電界強度であり、表中の検出精度（±100ms）を保証するものではありません。
※２．周囲の電波環境によっては、若干悪くなることがあります。

当製品に関するお問い合わせおよび修理依頼は、お買い上げいただいた販売店もしくは下記へご連絡ください。

セイコータイムシステム株式会社

東　京	03(5646)1601	札　幌	011(640)6280
東　北	022(261)1323	信　越	0263(27)8601
名古屋	052(723)8531	大　阪	06(6445)8804
広　島	082(245)2571	九　州	092(475)1291

セイコータイムシステム株式会社
URL　http://www.seiko-sts.co.jp

I-6053-4